

# おこんぼるり

作 / さねとうあきら  
演出 / 印南貞人 (東京芸術座)



## 愛の絆で結ばれた老婆と狐の物語

寝たきりのイタコの婆さまは、腹を空かせ忍び込んできた狐に「どうせ死ぬのだから」と家中の食べ物を振る舞いました。するとお礼に狐が不思議な浄瑠璃を喰ると、婆さまの病はすっかり治ってしまいました。

「おらにも教えてくれ」と婆さまは狐に懇願します。奏でる三味線と呪文のように続く長い長いうたことば。なかなか覚えられない婆さまに狐は苛々しながらも二人三脚で村人の病を治して楽しく暮らしていました。そこへ噂を聞きつけたお城のお侍がやってきて・・・



一般社団法人日本教育演劇道場

劇団

らくりん座

<http://rakurinzai.com>

〒329-2815 栃木県那須塩原市下大貫 1246

TEL0287-36-2488 FAX0287-36-4843

E-mail: [kunugi@rakurinzai.com](mailto:kunugi@rakurinzai.com)